

7月豪雨を経験して

河川の危険水位と牟田辺遊水地を視察

現地

7月初めの豪雨は、「数十年に一度」の大雨特別警報が出され、小城市でも避難指示が発令されました。

牛津町新町で床上浸水5戸、床下浸水21戸の家屋被害が発生し、議会の産業建設常任委員会が現地を視察したり、一般質問で、河川の整備の促進やポンプの一斉停止の見直し、牟田辺遊水地の操作基準の検討などが論議されました。

議会広報編集特別委員会では、10月4日、国土交通省管理の牛津川と牟田辺遊水地、県土木事務所管理の祇園川、牛津江川の現地に出向きました。牟田辺遊水地は、多久市南多久町にあることから、日頃はあまり出かける機会がありません。新たに出来た3つの転倒堰や90万トンの水を貯める遊水地であることを確認しました。

県管理の河川では、最近、護岸に水位危険度のレベルが表示され、その見方と避難行動の目安が看板として設置されていました。河川の管理と水防を学んだ視察でした。

川に設置している 水位危険度レベルと行動の目安

水位危険度レベルのみかた



護岸（階段）には水位危険度レベルの表示があります。

佐賀県佐賀土木事務所
TEL 0952-24-4352

▲河川の主要箇所水位危険度レベルの看板があります。日頃から気にかけて見てください。

